

1 事業名等(Plan 1)

事業名	町内会加入促進事業						
所属名	市民活動部 市民活動推進課 市民活動推進グループ						
第七次総合計画	政策	5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	5 地域	基本施策 1 地域に住み続けたいという思いを育てる	施策	3 地域力の向上
予算科目	2	1	10	市民活動推進費	21010	市民活動支援	事業
				費			事業
				費			事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等							
事業の実施主体	○ 市 市以外→ 高山市町内会連絡協議会						
事業の実施方法	○ 直営 指定管理 業務委託 団体等補助 その他→ 連携						

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	町内会未加入世帯	受益者数	9,424 世帯
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	地域の連帯意識の高揚を図り地域に根ざしたまちづくりを促進する		
概要	事業の実施手法、手順	高山市町内会連絡協議会と連携し、未加入者への呼びかけや町内会活動を紹介したチラシの配布など加入促進運動を実施している		
概要	事業始期・終期	始期: 年度から	始期: 年度まで	設定なし ○
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入 町内会別の情報を反映した加入促進チラシの作成の検討			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		1,000	1,000	1,140	1,000	1,000	
総合計画計画額(計画額)		1,000	1,000	1,140	1,000	1,000	
事業費	予算額	1,140	1,140	1,270			
	(計画・予算・見込・決算額)	995	1,057				
財源	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
	繰入	予算額					
		決算・見込					
一般財源	予算額	1,140	1,140	1,270			
	決算・見込	995	1,057				
H17国勢調査 96,231 人 32,174 世帯 ※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価							
コスト	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位 %					
コスト	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位 円/人	10	11			
コスト	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位 円/世帯	31	33			
コスト	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位 円/人					
コスト	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位 円/人					

【成果面】

活動・成果指標	活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)	指標名	資料・出展算出式	単位					
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	活動の方向
	目標値								
成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)	指標名	町内会加入率	資料・出展算出式	単位 %					
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	成果の方向
	目標値								
実績値	73.2	72.7							
達成率									

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	(現状及び判定理由)	地域づくり、地域課題の解決等において、町内会が果たす役割の重要性を踏まえ、その活動の活性化等を図るためにも加入促進運動を引き続き展開していく必要がある			目的評価	A
		A:非常に高い	B:高い	C:低い	D:非常に低い	
②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	(判定理由)	事業費はほぼ横ばいで推移している			項目	③成果面
	減少	維持	1	増加	②コスト面	
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	(判定理由)	町内会加入率は高まっていない			拡大	H
	拡大	維持	減少	1	維持	
コスト・成果ポジション					第4水準	

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「III」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点	加入促進に向け新たな取り組みをすすめる必要がある
------------------------------	--------------------------

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 ■ 改善・継続 ■ 終期設定 ■ 休止 ■ 廃止 ■ 完了
活動の方針	・創意工夫をこらした加入促進を展開する ・町内会活動のあり方について検討する
次年度の実施方針	同上

一次評価 主管課	IV
判断の理由	町内会加入率が高まらないなか、創意工夫を凝らした加入促進活動を引き続き展開する必要がある

総合評価	中 低 IV
判断の理由等	「III」以上の水準に向けた改善が必要 町内会加入率は年々低下しており、事業効果が表れていないと考える。このため未加入者に対し町内会が果たす役割等を十分に認識してもらえるよう創意工夫を凝らした加入促進活動を展開するとともに、町内会活動のあり方についても検討をすすめる必要がある。